

野方・都立家政・鷺ノ宮駅周辺まちづくりの進捗と関連都市計画道路について

野方・都立家政・鷺ノ宮駅周辺地区まちづくり検討会の進捗状況及び、今後まちづくりを推進していく上で整備予定としている関連都市計画道路である補助第227号線の現況調査説明会の開催状況について報告する。

1 野方・都立家政・鷺ノ宮駅周辺地区まちづくり検討会の進捗

西武新宿線の野方駅・都立家政駅・鷺ノ宮駅周辺については、平成28年に各駅で検討会が立ち上がり、地域住民が主体となってまちの将来像について以下のとおり検討が進められている。

(1) 野方駅周辺地区まちづくり検討会

- ・平成28年7月に「野方駅周辺地区まちづくり検討会」が設立
- ・住環境・防災、商業環境、交通環境をテーマとして、将来像やまちづくりの目標・方針について検討（平成29年9月末までに検討会を15回開催）
- ・平成29年6月18日（日）19日（月）に、検討会主催の中間報告会を開催

野方駅周辺地区まちづくりの方向性

【目標】	【方針】
災害に強く、緑豊かで誰もが暮らしやすい住環境づくり	・みんなが暮らしやすいまちづくり ・緑豊かで自然を感じられるまちづくり ・災害に強く安心なまちづくり
歩いて楽しい、にぎわいの感じられる商業環境づくり	・魅力的なお店が集まる商店街づくり ・歩いて楽しく買い物がしやすい空間づくり ・みんなが集うにぎわいの拠点づくり
利便性が高く、人にやさしい交通環境づくり	・歩行者や自転車に安全な道づくり ・快適に通行しやすい道づくり ・公共交通を利用しやすい駅前づくり

(2) 都立家政駅周辺地区まちづくり検討会

- ・平成28年9月に「都立家政駅周辺地区まちづくり検討会」が設立
- ・商店街やまちの利便性、交通に関する課題、住宅地の環境や安全性に関する課題について話し合い、将来像やまちづくりの目標・方針について検討
(平成29年9月末までに検討会を12回開催)
- ・平成29年8月18日（金）19日（土）に、検討会主催の中間報告会を開催

都立家政駅周辺地区まちづくりの方向性

【目標】	【方針】
駅前や商店街を中心に、買い物しやすく暮らし豊かなまちにします。	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的なお店が集まり、多彩なイベントが行われるなど、何度も訪れたい空間をつくります ・お店が利用しやすく、安心して歩けるよう、商店街の環境を整えます ・生活に必要な商品やサービスが揃った、便利なまちにします
人と車、自転車が共存できる交通環境をつくります。	<ul style="list-style-type: none"> ・歩いて自転車でも安全で快適に移動できるまちにします ・駅を中心に、交通の利便性を高めます ・まちの骨格となる道路を整備し、自動車が狭い道を通らず通行できるようにします
ずっと住み続けたい住環境をつくります。	<ul style="list-style-type: none"> ・建物が建て替わっても、今ある静かで落ち着いた住環境を守ります ・災害に強く、防犯性の高いまちにします ・お年寄りが健康で安心して暮らせ、子育てがしやすいなど、多様な世代が暮らしやすい環境や施設を整えます ・うるおいと魅力を感じる景観づくりを進め、愛着の持てるまちにします
地域で手を取り合って、楽しく、暮らしやすいまちにします。	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が気軽に取り組める活動を広げ、地域を支える人を増やします ・ひとりひとりが交通ルールやゴミ捨てマナーなどの約束ごとを守り、まちの安全や美化を保てるまちにします ・住民や地域の学校・団体などが活発に交流し、まちの魅力や情報を発信して、まちを楽しくいきいきとさせます

(3) 鷺ノ宮駅周辺地区まちづくり検討会

- ・平成28年3月に「鷺ノ宮駅周辺地区まちづくり検討会」が設立
- ・道路・交通、まちのにぎわい、まちの資源、住環境・防災をテーマとして検討
(平成29年9月末までに検討会を14回開催)
- ・平成29年3月17日(金)18日(土)に検討会主催の中間報告会を開催済

鷺ノ宮駅周辺地区まちづくりの方向性

【目標】	【方針】
駅前や中杉通りなどを、安全でスムーズに行き来できるようにします。	<ul style="list-style-type: none"> ・電車やバス、タクシーに乗り降りしやすい駅前になります ・中杉通りを、渋滞がなく歩行者も歩きやすい道路にします ・地域の骨格となる道路網を整備し、住宅地の「抜け道」状態を改善します ・駅から主要な施設に向かう道路を、誰もが安全に安心して通れるようにします
駅周辺を、便利に買い物ができ、人々が活発に交流する拠点にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺に、魅力的なお店や施設が集まり、多くの人が訪れる空間をつくります ・商店街で便利に買い物ができるように、お店の種類や品揃えを充実させます
歴史・文化や水・みどりを大切に、まちの魅力を高めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根付く大切な行事などを次世代へ伝承します ・まちの魅力や情報を積極的に発信します ・住民が手軽に取り組める活動を広げ、まちをいきいきとさせます ・妙正寺川を活かし、うるおいあふれる景観をつくります
住みたい・住み続けたいと思える、安全で安心な住環境をつくります。	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの豊富なみどりや落ち着いた街並みを守ります ・災害に強く、防犯性の高いまちをつくります ・子どもからお年寄りまで、全ての人々の暮らしを地域で支えます

2 関連都市計画道路について

東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）に位置づけのある、補助第227号線について、道路や沿道の土地の形状、建物の位置を把握するため調査にあたり、現況調査説明会を行ったので、開催状況について報告する。

(1) 開催日時及び会場

平成29年7月7日（金）19時～20時15分（鷺宮区民活動センター）

7月8日（土）14時～15時30分（野方区民活動センター）

(2) 参加者数

平成29年7月7日（金） 48名

7月8日（土） 86名

計134名

(3) 調査対象範囲

補助第227号線の妙正寺川～新青梅街道区間（約960m）

道路計画線から、概ね30mの範囲

(4) 主な質疑回答概要

特に都市計画道路（16m）の拡幅範囲、調査範囲の沿道30mが沿道まちづくりで立ち退きの対象となるのか、また建替えが強制されるのかどうか、事業スケジュールに関する質問が多かったが、道路整備を反対する意見はなかった。

【主な質疑回答】

現況調査説明会の主旨について	
現況調査とは、何を調査するのか。	まちづくりを検討するにあたり、補助第227号線の詳細な位置を把握するため、道路や沿道の土地の形状、建物の位置を調査します。
位置付けについて	
補助第227号線の位置付けはどのようなものがあるのか。	中野区都市計画マスタープランにおいて、一般延焼遮断帯、補助幹線道路沿道地区、補助幹線道路軸などに位置付けられています。（ホームページに掲載している説明スライドよりご確認ください。）
断面構成について	
補助第227号線に歩道が設置されるのか。	道路の幅員16mの場合、一般的な道路としては、両側に各3.5mの幅の歩道（両側で計7.0m）が整備されます。車道は9.0mとなります。

整備範囲について（現在の道路から後退距離について）	
道路は16m以上に広がることはあるのか。	都市計画決定されている幅員が16mであり、それ以上の幅員で整備することは考えていません。
現在の道路（幅員6m）から両側に5mずつ同じ距離で後退するのか。	現在の曲がりのある道路をできるだけまっすぐにするように都市計画の線が決められているため、場所によって後退距離が違います。このため、拡幅は現在の道路から両側に同じ後退距離ではありません。
整備予定について	
いつ、事業に着手するのか。	都市計画手続きの事業認可を取得し、平成32年度以降に事業に着手することを目指しています。 今後、沿道のまちづくりの進捗を勘案しながら着手時期を慎重に検討していきます。
整備主体について	
妙正寺川から新青梅街道の区間は、なぜ区が整備するのか。	早稲田通りから妙正寺川の区間は、東京都の木密地域不燃化10年プロジェクトの特定整備路線であるため東京都が整備しています。 妙正寺川から新青梅街道の区間は、西武新宿線連続立体交差事業や駅周辺のまちづくりとあわせた整備を行うため、区が整備していきます。
沿道まちづくりの範囲について	
沿道まちづくりの範囲（都市計画線道路から30mの範囲）とはなにか。	沿道まちづくりの範囲とは、補助第227号線の延焼遮断効果を高めるため、倒れにくく燃えにくい建物に変えていく等のまちづくりを検討していく範囲です。今後、沿道まちづくりの検討に役立てるため、調査範囲としています。なお、都市計画道路境界線の外側から沿道30mの範囲については、道路整備の対象ではありません。
建て替えについて	
沿道まちづくりはどのように検討していくのか。	今後、沿道30mの範囲で、たとえば、地区計画などのまちづくりのルールを沿道の皆様と検討していきます。
沿道まちづくりの時期について	
沿道まちづくりは、道路整備と同じ時期に進めていくのか。	道路整備と沿道のまちづくりを同時に進めることで防災性をより高めることができると考えています。道路整備と沿道のまちづくりルールによる建て替え時期にずれが生じる可能性があります。道路整備のみを行うのではなく、沿道のまちづくりもしっかりと進めていく予定です。